

第4回 JPCA ものづくり大賞

改善取り組み事例発表会

応募要項・応募申込書
一般社団法人日本電子回路工業会
ものづくり大賞事務局

「JPCA ものづくり大賞」とは

我が国電子回路製造業においては、厳しい事業環境の中、製造現場を何とか日本に残そうと、現場改善の創意工夫とプロセス革新活動により他社、他国に負けないダントツものづくりを追求して、日々努力を続けておられます。

こうした中、日本電子回路工業会では、JPCA 会員をはじめとする業界全体がダントツものづくり生産性 No.1 を目指すためにものづくり強化へ向けた様々な取り組みを実施して参りましたが、この度、会員各位の「ダントツものづくり」へのご尽力に対する成果、効果的な生産性、納期、品質等に対する改善結果、更に生産性向上に寄与する電子回路製造プロセスへの設備・材料面等の貢献に対する表彰制度を「JPCA ものづくり大賞」として導入致し、既に4回目となりました。

この表彰制度は、国内外を問わず各地域で工場・事業所の生産性向上、納期短縮、品質向上をはじめとする様々な体質・生産革新活動へ取り組まれている事例に着目し、そのプロセスや成功要因、現場教育、意識改革、ものづくり改革の為の設備・材料・資材面サプライヤサイドからの貢献などの内容を幅広く取り上げ、その成果を日本の電子回路製造業の範として顕彰させて頂くものです。JPCA ものづくり大賞とは、これらの表彰制度の総称となります。

貴社の工場・事業所において、生産革新、ものづくりプロセス革新、生産性向上において自慢できる要素があれば、是非とも積極的なご応募をお待ちしております。

なお、本表彰制度は当工業会として4回目となりますが、コロナ禍の中、内容について変更する場合もあることを予めご承知置きくださいますようお願い致します。

1. 応募資格

JPCA 会員企業における日本国内工場・事業所、海外展開現地工場・事業所

2. 表彰対象

応募されたテーマの活動及びその成果によって、工場・事業所が総合的に生産性向上、改善・強化されたり、革新的なものづくりの優秀なモデルとして業界の範となる工場・事業所

3. 賞の種類と特典

JPCA ものづくり大賞	賞金 10万円	1件
準ものづくり大賞	賞金 7万円	2件
審査委員長賞	賞金 5万円	2件

4. 受賞件数

4～5件程度（審査委員会の決定による）

5. 審査機関

学識経験者と改善指導専門家等で構成される「JPCA ものづくり大賞」審査委員会

6. 審査方法

(1) 書類審査

フォーマット（パワーポイント5枚程度・7枚以内）に従って提出された審査書類一式による審査を行います。

「**フォーマット**（パワーポイント5枚程度・7枚以内）の主な内容」

A.工場・事業所の特徴 B.活動を進めるしくみ C.活動を進めた背景

D.活動の実施内容（ビフォーアフター図・写真等貼り付け可）

E.活動の成果・効果（定量的／定性的） F.今後の方向 G.まとめ

(2) 審査基準

上記の書類審査に当たり、審査委員により次の観点より第3者的に判断し、賞の決定を致します。

「審査基準」

① 革新性：従来の仕組みと比較してどれだけ進歩したか。

② 着眼点：課題解決への着眼点が的確で効果的であるか。

③ 効果：定量的、定性的効果が出ているか。

④ 活性化：関係者の巻き込み、全員参加が出来ているか。

⑤ その他（将来性、現実性、妥当性等々）

7. 表彰式及び事例発表日程

令和3年2月4日（木） 於：回路会館

表彰式には、工場・事業所代表者1名及び当該活動の実施責任者（現場リーダー）1名の計2名以上のご出席が必要となります。

事例発表時間各件は、現場リーダーの方より約15分を予定。受賞者（企業）はJPCA ニュース等にて会員内外に向け公表致します。なお、発表に際しては、企業の固有特有技術・ノウハウに関わる部分・箇所を除く発表と致しますので、ご留意下さい。なお、コロナ禍に伴い、現地（回路会館）での発表をリモート発表に変更ご希望される場合は、別途ご相談致します。

8. 特典

上記、3. の受賞賞金を贈呈致します。

9. 今後の予定

(1) 応募締め切り：2020年12月15日（火）（メール添付にて事務局必着）

(2) 審査書類（**フォーマット**）の締め切り：2021年1月12日（火）（メール添付）

(3) 書類審査 1月中旬～下旬

(4) 事例発表・表彰式 2021年2月4日（木）